

日記を書いてる—!!??

神々無斬

日記を書いている人たち

「ふっふっふ——。今日はどこに行きましょうかなー」
とイリスが龍京を歩きながら言っている。その時っ
「へえーい そこの君、オレの売ってる衣装買ってくれないか？」
と話しかけてきたのはチャラチャラしているバン・ギウだった
「あははー 今そんなことしている暇はないので……あとお金ないし」
とイリスが言ったら
「まあまあ、そんなこと言うなよ。試着でもして行けよー。な？」
などとバン・ギウが言ってきたのでしょうがなくイリスはバン・ギウが売っていた衣装を試着してみた。ただあまり似合っていなかった。というか全然似合っていなかった。
「おっ かわいいじゃん」
とバン・ギウが言ったがイリスは心の中で
「貴方の目はどうゆう風になっているんですか!!」
と思っていた。
「ねえねえ。似合ってるからさー買ってくれない？半額にしとくからさー」
とバン・ギウが言ったがイリスは
「いえ。いいです。お金がないので」
と言った。
「買ってくれよー。5000ELYにしとくからさー」
とバン・ギウに言わがイリスの所持金は4753ELYしかなかったの
「すみません。お金がないのでやめときます」
とイリスは言ったがバン・ギウは買ってほしいという気持ちがあったのか
「なら、3000ELYでどうだ」
と言った。イリスも仕方なく
「わかります。買います。買います」
と言ってしょうがなくバン・ギウが売っている衣装を買った。
「まいどありー」
とバン・ギウは嬉しそうに言っていた。だがイリスは残念だった。似合わない服をしょうがなく買ったのだからショックだった。
「はあー、3000ELYなくなった。ショックだ」
と言いながら龍京を歩いていた。するとあるものが見えた。それは
龍京にいる人たちみんな日記を書いていることだ。一時休業中という看板がありました。
イリスは ええっ？ と思って後ろを振り向くとバン・ギウも日記を書いていた。
「売れない服を一人の客が3000ELYで買ってくれた。……………」
と言いながら日記を書いていた。
「ええ？龍京にいる人たち（NPC）が日記を書いてるー」
と言って走ってタウンポールのところに行ってエリアスに行きました。

エリアスでもエリアスにいる人たちが日記を書いていた。

「ええ？夢？皆、日記を書いてる夢？」

と思いました。そして目をこすったり、ほっぺを引っ張ったりしたけど痛かったです。現実です

「ええええええええ—————。ほんとに——」

とエリアスのど真ん中で大声で叫びました。

そうしたら周りにいた人たちがイリスのほうを向いて睨みつけるような目で見ていました。

あせってイリスは

「すみません；；。すみません；；」

と左右を見ながら言っていました。イリスは

「ちゃんと仕事してよー。オークションでユニーク武器欲しんだから」

と言いました。 END